

5月10日(木) 土・点字・絵

二年生がミニトマトの苗を植えました。苗が生えている容器の、土をマッサージしてあげましょう、と担任から指示がありました。素直な子供たちは、自分が育てる苗に向かって「マッサージするよ」「もみもみするよ」「ぷにゃぷにゃにするよ」と声をかけながら土をやわらかくしていました。中には、「肩こってませんか?」と真剣に尋ねている子もいます。タネでも苗でも、土であっても、育てる人との会話がとっても大事なのだと聞いたことを思い出しました。



四年生が「扇っ子タイム」で点字体験をしていました。簡単な文章を点字で表現する活動です。その活動を見たことを忘れかけていた給食後、数人が私のもとにやってきました。「手紙を書きました」というのです。何のことだろうと不思議に思っていると、「点字で書きました」と教えてくれました。あの時に書いていたのは、点字による手紙だったのだと分かりました。6人から手紙をいただいたので、これから何が書いてあるのかを勉強します。



一年生がアサガオのタネに水をあげていました。持って来たペットボトルに水を入れて、心を込めて水をあげています。ある子がそのペットボトルを見せてくれました。かわいらしい絵が書いてあります。自分で書いたそうです。これなら誰かに間違えられたり、なくなったりしないと思いました。ペットボトルにもこの子の思いが込められているからです。「物を大切に使う」ヒントをもらったような気がしました。



5月 9日(木) メガネ・タネ・撮影

三年生の教室に入ると、虫メガネで私を見つめる子が数人いることに気づきました。「今、虫メガネでいろんな物を見ている」ことを教えてもらいました。消しゴムのかすや、鉛筆の芯などなどを、虫メガネを使って見る活動を



しているところでした。この道具を使えば、小さいものもよく見えることは分かっているようです。おもしろかったのは、**友達**の虫歯を見つけている子がいたことです。

本日は、タネを扱っている授業に三回出会いました。昨日**アサガオ**のタネを植えた一年生が、水をあげながらタネについて話してくれたこと。三年生、四年生はまさにこれからタネを植えるところ。四年生は、先生から**土**をもらおうと、**うれしそう**にその土をしばらく見ていました。小さな命をもらった子供たち。しっかり育てて、**成長した花**と再会してもらいたいです。

クラブ活動の時間、六年生の写真撮影がありました。卒業アルバムに収めるものです。六年生に**最高の笑顔**をつくってもらおうと、**カメラマンさん**もいろいろと声かけしてくれます。**担当の先生**もちろん、声をかけます。私も声をかけました。あるクラブへ行くと、**四、五年生**も最高学年の子に声をかけていました。「笑顔！笑顔！」「笑顔で！！」と。最高の**笑顔で楽しそう**な声かけ。一番効果があったようです。異学年での活動の価値を感じたひとときでした。



5月 8日 (水) 返事・よさ・なんで

一年生が**鍵盤ハーモニカ**の講習を受けました。とっても楽しい活動、展開でした。講師の方は巧みな話術と専門性で子供たちを引きつけ、子供たちを夢中にさせてくれました。とっても印象的だったのは、「はい」の**返事**を短くそろって言うように徹底したこと。場の**空気が引き締め**りました。教室にも言えることです。授業開始のあいさつで「よろしくお祈いします！」と**短く言う**と学びが始まる雰囲気ができます。反対に「よーろーしくーおーねーがーいしーまーす」のような社会で通用しないあいさつをすると、なんだからだらけた空気になります。今日は、とても良い指導をいただいたと感じました。



五月の講話朝会。昨年度同様に「学校は自分の**よさを磨**



くところですよ」という話をしました。私は簡単に話をして、あとはクラスごとの**学び合い**としました。一年生の教室でも、グループ活動により友達のよさについて発表がありました。「〇〇さんはブランコに乗っているときに**かっこいい**」「〇〇さんは、絵が**上手**」「〇〇さんは、ブリッジが**得意**」「〇〇さんは、気持ちが**あったかい**」など。発表ごとに温かい拍手が生まれ、その場にいる喜びを感じさせてもらいました。

六年生道徳の教材です。主人公が母親に起こしてもらえずに**寝坊**をします。楽しい約束があった日なのに遅刻。その時の主人公の気持ちを発表していました。「**なんで**起こしてくれないんだ!」「**さっさと**起こしてくれよ」「昨日、あんなに**言っておいたのに!**」「**早く起こせよ!**」。自分の母親にもこんな言い方をするのかたと想像しながら、六年生の本音を聞いていました。授業では、母に頼らず自律しようとする主人公の心情を追っていきます。自立・自律していく過程で、越えなければならないことの一つに「**人のせいにしない**」ことがあります。ましてや親のせいにしては、自走する子には育たないと思います。



5月 7日 (火) GW・図書館・お気に入り

一年生が**ゴールデンウィーク**の思い出を伝え合っていました。ある子は「**野球**の練習をしていた」と、ある子は「**引っ越し**でたいへんだった」とペアの子に伝えていました。私が数人に聞いてみると「**恐竜博**」「**トカゲ**」「**ウノ**」「**おじいちゃん**」「**プール**」などの思い出を話してくれました。四日間の出来事。一年生の記憶に残っているのは行った場所ではありません。「**何をしたか**」「**誰といたか**」のようです。

三年生が**図書館見学**に行きました。職員の方の説明を聞きながら館内を歩いた子供たちのつぶやき（私が聞いた）を紹介します。「**へえ、8時まで**やってるんだ」「**そこ座っていいんだ**」「**ここ、初めて**に入った」「**こんな所がある**



んだ」「ジュース飲んでいいんだ」「勉強もできるんだ」「今度お母さんと一緒に来よう」「日曜日もやってるんだ」など。三年生ぐらいが一番、疑問を持ち、興味を持ち、それを表現する学年だと思います。

六年生が描いている絵は、学校の中のお気に入りの場所。数人に聞いてみました。なぜそこを選んだか。家庭科室、調理実習のことをよく覚えているから。一年生の廊下、じわじわと記憶がよみがえってくるから。体育館、廊下から見ていて、描いてみたいと思っていたから。他にも、バスケットゴール、池、教室、図書室などなど、その場所には、作者が選んだ思い出が存在するようです。



5月 6日(月) 楽しみ

三日間、完全に休ませてもらったので、さすがに本日は仕事に来ました。今週の予定や、今後の業務等を確認していると、ワクワクする資料に出会いました。献立です。今週は、火曜日カレーライス、水：タンメン・アメリカンドッグ、木：ふき入りかやくご飯、金：ビビンバとスープ。おいしい物を思い浮かべると、がんばれるものです。雨や暑さも予想されます。やらなくてはいけないこともたくさんある五月ですが、給食から喜びをいただけそうです。



5月 5日(日) 子ども

本日は子どもの日。ニュースでは、「50年で半分に減少」という情報が流れてきました。本日も所用があり出かけましたが、その情報があったからか「子供が少ない」と感じてしまいました。本日も行った場所も、たくさんの人が集まるような所。2カ所とも「外国人が多いな」という感想を持ちましたが、つい「子供は・・・」と探してしまう時間が何度かありました。数が減った、室内で楽しく時間を過ごせることが増えた、休みでもスポーツ等の活動をしている子も増えた、そんな理由から、外で見る子供が減った



のでしょうか。

5月 4日 (土) 歴史

「どんぐりころころの碑」に出会いました。なぜここに、この歌の碑があるのかが何となく分かりました。歌にも誕生や歌い継がれた歴史があるのです。ある場所に行くと、ガイドさんがそのお寺の歴史を説明してくれました。とっても勉強になりました。また、3.11震災の時の話も聴けました。この場所の被害が小さかった理由も分かりました。この地で、この話を聴かせてもらっていることを当たり前だと思っはいけないと、痛感しました。



5月 3日 (金) GW

本日から四連休。出かけた先では、驚くくらいの人混みを何度も目にしました。駅、列車内、食事、観光、どこへ行っても行列を目にしたり、並んだり。私は人混みを見るのは嫌いではありません。多くの人が楽しんでいることに、(その場所での)平和を感じます。安全で、健康で、好天で、時間があり、そこに魅力があるからこそ、人は集まります。楽しい時間を過ごせることに、もっともっと感謝の気持ちを持たなくてはいけないと思いました。



5月 2日 (木) 木・家・勝者

図工室で楽しそうに絵を描いていたのは四年生でした。好きな木を描いているようですが、葉や花の色を見るとだいぶ独創的です。カラフルな木や、しっとりとした感じの木、冬を思わせる木、日本にはおよそ存在しないであろう木などがあります。紙いっぱい描かれた木。数年後には画用紙からはみ出すように伸びていきそうな木には、子供たちの夢が詰まっている気がしました。

三年生は社会で、学区の特徴を学習します。PCで自分



の**家**を見つけた子たちが、私にそれを見せてくれました。登下校指導などで見たことがある場所ばかりです。教えてくれるこの中には、**家の立派さ**や近くにあるお店などを伝えてくれた子もいます。扇小学校から家までの道も、今ではPCがあれば簡単に分かります。上手に活用すれば、**安全な登下校**についての意識も高まるようです。

一年生が**集団行動**の学習をしていました。4クラスが体育着で集まり、整列や体育の約束などを確認していました。活動の一つとして行われた**ジャンケン列車**は、とっても楽しそうでした。チャンピオン一人が決まるまでこの活動は続きました。**勝者**の後ろには100人程の子が連なっており、かわいらしくも**長い列車が完成**しました。ルールを破ったり、負けたらふてくされたりする子が独りもいなかったなので、楽しい活動になったのです。



5月 1日 (水) お茶・歌・ダンス

5月1日は「**緑茶の日**」だそうです。それに合わせたわけではありませんが、五時間目はお茶の活動が並びました。第二音楽室では三年生が「**茶摘み**」を歌っていました。その隣、家庭科室では五年生が「**お茶の入れ方**」を学習していました。「茶摘み」の音楽や歌を聴きながら、五年生がおいしいお茶を飲んでいました。校長室に持ってきてくれた子に聞くと「**水の量**、単位に気をつけて、上手にできた」とのことでした。**狭山茶**はおいしいです。



二年生の教室からは、「**きよしこの夜**」が聞こえてきました。「**みんなの歌**」にどんな曲があるのかを、みんなで確かめている活動でした。ある子の**リクエスト**で、このクリスマスソングが流れていたのです。聞いていた子からは「**ぼく、この歌好きだな**」「**幼稚園の時に歌った**」「**今年もクリスマスになったら歌うかな**」などの声が聞こえてきました。歌は季節を越えて、年を越えて愛されているのだと、改めて思いました。



雨で外体育ができない日。ある教室では、**テレビ画面**を



見ながらダンスを楽しんでいました。とっても楽しそうです。ダンスは中学校体育でも行います。例え短時間でもこのように**体を動かす**ことは意味があります。子供たちの表情を見ているとそれが分かります。**汗**をかきながら体を動かしている子もいますし、友達の動きにつられて**照れを忘れて**いる子もいます。このような動画は簡単に見られるので、ご家庭でも家族でやってみるのはいかがでしょうか。